

# 平成 30 年度 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 (研究者養成プログラム) 学生募集要項

平成 30 年度京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 (研究者養成プログラム) 学生を下記により募集する。

本研究科は、教育と人間にかかわる多様な事象を対象とした諸科学を考究することで、理論と実践とを結びつけた心・人間・社会についての専門的に高度な識見ならびに卓越した研究能力を養成し、さらに、広い視野と異質なものの理解、多面的・総合的な思考力と批判的判断力を形成し、人間らしさを擁護し促進する態度を啓培することで、地球社会の調和ある共存に貢献できる高度な専門能力を持つ人材の育成を目的とする。

## I. 専攻及びコース

専攻	コース
教育学環	教育哲学・教育史学、教育方法学・発達科学、臨床教育学、教育認知心理学、臨床心理学、教育文化学、比較教育政策学、高等教育学

## II. 募集人員

若干名

※外国人留学生 (特別選抜) を若干名募集する。

## III. 試験期日

第 1 次試験 (筆記試験) は、平成 29 年 9 月 5 日 (火) に実施する。

第 2 次試験 (口頭試験) は、平成 30 年 1 月 24 日 (水) ~ 1 月 25 日 (木) に実施する。

## IV. 出願資格

次のいずれかに該当する者及び平成 30 年 3 月 31 日までに該当する見込みの者。

- (1) 修士の学位又は修士 (専門職) 若しくは法務博士 (専門職) の学位を有する者 (ただし、本研究科修士課程 (研究者養成コース) 修了見込みの者を除く。)
- (2) 外国において、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程を修了した者
- (4) 我が国において、外国の大学の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程 (本学大学院の修士課程又は専門職学位課程に相当する課程に限る。) を修了した者
- (5) 国際連合大学 (国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法 (昭和 51 年法律第 72 号) 第 1 条第 2 項の規定によるものをいう。次号において同じ。) の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 外国の学校、第 4 号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準 (昭和 49 年文部省令第 28 号) 第 16 条の 2 に規定する試験及び審査に相当するものに合格した者であって、本研究科において修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
- (7) 文部科学大臣の指定した者
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、(1) に掲げる者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達したものの

※注1 中国大陸、香港、台湾の大学を卒業した者は、出願手続きの前に、京都大学アドミッション支援オフィス(AAO)で手続きを行うこと。詳細については、下記のホームページを参照。

<http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/international/students1/ku-ao.html>

※注2 上記(6)～(8)により出願する者は、事前に出願資格の審査(「V. 出願資格の審査」を参照)を受けなければならない。

## V. 出願資格の審査(書類審査)

出願資格(6)～(8)により出願を希望する者は、出願に先立ち出願資格の審査を行うので、申請に必要な書類を教育学研究科教務掛へ請求すること。(郵便番号、住所及び氏名を明記し、140円切手を貼った角形2号封筒[240mm×332mm]を同封のうえ、「出願資格審査申請書類請求(研究者養成プログラム) 博士後期課程」と朱書すること。)

出願資格審査申請書類提出日 平成29年7月25日(火)～7月26日(水)

審査の結果は、平成29年8月4日(金)に申請者あてに郵送し通知する。

## VI. 出願手続

入学志願者は次の書類等を郵送により提出すること。

①編入学志願票	本研究科所定用紙
②写真票・受験票	本研究科所定用紙。上半身脱帽正面向きで、出願前3か月以内に単身で撮影した写真2枚を所定の枠内に貼ること。
③志望理由書	同一内容のもの4部。本研究科所定書式(A4判の用紙2ページ以内)で提出すること。 ※ 所定書式は、下記のホームページからダウンロードすること。 <a href="http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/graduate/admissions_info">http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/graduate/admissions_info</a>
④出願資格を証明する書類	修士課程・専門職学位課程の修了証明書又は修了見込証明書等
⑤成績証明書	出身大学長又は研究科長が作成したもの。厳封又は複写防止用紙によること。
⑥入学検定料	30,000円(国費留学生及び平成30年3月本学大学院修士課程・専門職学位課程修了見込みの者は不要) 下記の期間に別添の振込依頼書により納付のこと。 平成29年8月14日(月)～8月23日(水) (期限当日の収納印有効・期間外取扱不可) ※平成23年3月に発生した東日本大震災及び平成28年4月に発生した熊本地震による災害救助法適用地域において、主たる家計支持者が被災した者で、罹災証明書等を得ることができる場合は、入学検定料を免除することがある。詳しくは、7月14日(金)までに教育学研究科教務掛へ問い合わせること。
⑦入学検定料振込金受付 証明書貼付台紙	入学検定料を金融機関で納付した後、収納印が押印された「入学検定料振込金受付証明書」を所定の位置に貼付。「入学検定料振込金受付証明書」に収納印がないものは願書を受理しない。
⑧受験票送付用封筒	本研究科所定封筒各1枚(合計2枚)。
⑨第1次試験合格者受験 番号一覧表送付用封筒	それぞれに志願者の郵便番号、住所及び氏名を明記し、362円切手(速達扱い)を貼ること。
⑩あて名票	本研究科所定用紙1枚。合格通知等の送付先を記入すること。
⑪住民票 (外国人留学生のみ) ※在留資格が「留学」である者又は 入学時に「留学」の在留資格を取 得できる見込みの者	市区町村が発行する、国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの。 在留カード(両面)のコピーでもよい。 海外に在住しており、出願時に提出できない場合は、パスポートのコピー(表紙及び氏名、国籍、写真、生年月日の記載されたページ)を提出すること。

⑫論文及びその要約

(第1次試験合格者のみ)

第1次試験の合格者のみ、下記の期間に提出すること。

平成30年1月4日(木)～1月10日(水)

同一内容のもの4部。

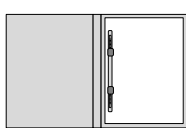
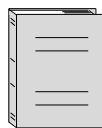
論文・要約とも日本語で作成すること。ただし、志望するコースが「教育方法学・発達科学」、「教育認知心理学」又は「高等教育学」の者については、英語で作成することも可とする。

横書きで作成し、本文の各ページ下部中央に必ずページ番号を記入すること。

要約・論文の順番に並べて1部ずつフラットファイル\*に綴じ、表紙に論文題目及び氏名を明記すること。

第2次試験に必要なので、コピーを取っておくこと。

\*フラットファイル



ア. 論文について

志望するコースに関連のある分野の最近の研究論文(又は修士論文)をA4判の用紙1ページ当たり800字(※推奨書式あり)で、50ページ以内にまとめたものを提出すること。英語で作成する場合は、A4判の用紙1ページ当たり22行(※推奨書式あり)で、50ページ以内、14,000words以内にまとめたものを提出すること。

なお、表紙、目次、注、文献一覧並びに附録等については、上記の枚数には含まない。注、文献一覧並びに附録等については、文末にまとめること。

イ. 要約について

提出論文の要約をA4判の用紙1ページ1,200字詰め(※所定書式)で、2ページ以内にまとめたものを提出すること。英語で作成する場合は、A4判の用紙(※所定書式)で、2ページ以内、800words以内にまとめたものを提出すること。印刷は両面印刷とする。

なお、要約には図表を用いないこと。

※ 論文の推奨書式及び要約の所定書式は、下記のホームページからダウンロードすること。

[http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/graduate/admissions\\_info](http://www.educ.kyoto-u.ac.jp/graduate/admissions_info)

※改姓により、入学志願票等の氏名と各種証明書の氏名が異なる場合は、A4判の用紙に改姓の事実を記載のうえ、自署押印したものを提出すること。

Ⅶ. 出願書類受理期間 (論文及びその要約を除く)

平成29年8月17日(木)～8月23日(水)

ただし、入学検定料の収納印が押印された「入学検定料振込金受付証明書」を貼付した「入学検定料振込金受付証明書貼付台紙」が同封されていない場合は、願書を受理しない。

最終日の午後5時までに必着のこと。郵送(書留便)に限る。

なお、期限後に到着したものは受理しないのでゆとりをもって郵送すること。

送付に際しては、とじ込みの「出願書類送付用ラベル」を使用すること。

送付先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育学研究科教務掛

## Ⅷ. 入学者選抜方法等

選抜は、第1次試験（筆記試験）及び第2次試験（口頭試験）によって行う。

なお、外国人留学生で、「Ⅳ. 出願資格」の出願資格を満たし、在留資格が「留学」である者又は入学時に「留学」の在留資格を取得できる見込みの者を対象に特別選抜を行う。

### (1) 第1次試験（筆記試験） 平成29年9月5日（火）

コース	外国語	専門科目	場所
	9:00～10:15	10:50～12:50	
教育哲学・教育史学 ※	英語、ドイツ語、フランス語、中国語の中から1つを選択。	①教育哲学	京都市左京区吉田本町
教育方法学・発達科学 ※		②教育史学	
臨床教育学		③教育方法学 ④発達科学	
教育認知心理学		⑤教育人間学・臨床教育学	
臨床心理学	英語	⑥教育認知心理学	京都大学本部構内又は 吉田南構内 (詳細は受験票送付時に通知する)
教育文化学 ※	英語、ドイツ語、フランス語、中国語の中から1つを選択。	⑦臨床心理学	
比較教育政策学 ※		⑧教育社会学 ⑨図書館情報学 ⑩メディア文化学	
		⑪比較教育学 ⑫教育政策学 ⑬生涯教育学	
高等教育学		⑭高等教育学	
備考	1. 外国語試験に関する注意事項 外国人留学生（特別選抜）は「英語」を受験すること。 2. 専門科目試験に関する注意事項 特に指定された場合を除き、日本語で解答すること。 ※印のコースを志望する者は、あらかじめ選択する専門科目を決めること。選択した科目以外で受験することは認めない。		

第1次試験の合格者は、9月8日（金）午後1時に教育学部掲示場に掲示するとともに、出願者全員に「第1次試験合格者受験番号一覧表」を送付する。

第1次試験の合格者は、論文及びその要約（「Ⅵ. 出願手続」⑫を参照）を下記の期間に提出すること。

論文・要約受理期間：平成30年1月4日（木）～1月10日（水）

最終日の午後5時までに必着のこと。郵送（書留便）に限る。

なお、期限後に到着したものは受理しないのでゆとりをもって郵送すること。期限までに提出しなければ、第2次試験を受けることができない。

送付に際しては、とじ込みの「論文・要約送付用ラベル」を使用すること。

送付先：〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学教育学研究科教務掛

### (2) 第2次試験（口頭試験） 平成30年1月24日（水）～1月25日（木）

第2次試験は、第1次試験の合格者について、提出論文を中心とした口頭試験を行う。（提出論文のコピーを持参すること。）

第2次試験についての日時・注意事項は、9月8日（金）午後1時に教育学部掲示場に掲示するとともに、該当者に送付する。

## IX. 合格者発表

平成 30 年 2 月 2 日（金）午後 1 時

教育学部掲示場に合格者の受験番号を発表し、同時に合格者には郵便により通知する。ただし、来学して合否を確認できない者で「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、第 2 次試験当日、郵便番号、住所及び氏名を明記し、362 円切手（速達扱い）を貼った長形 3 号封筒 [120mm×235mm] を持参し、教育学研究科教務掛へ申し出ること。

なお、電話等による問い合わせは受け付けない。

## X. 入学料及び授業料

入学料 282,000 円

授業料 前期分 267,900 円（年額 535,800 円）

※入学料及び授業料は予定額であり、改定されることがある。

※入学時及び在学中に改定された場合には、改定時から新入学料及び新授業料が適用される。

※平成 30 年 3 月本学大学院修士課程・専門職学位課程修了予定者は、入学料不要。

※国費留学生はいずれも不要。

## XI. 注意事項

### 1 提出書類について

- (1) 提出書類は、すべて本人が楷書で鮮明に記入すること。
- (2) 氏名は略字等を使用せず記入すること。
- (3) 試験科目の「外国語」は、英語、ドイツ語、フランス語、中国語の中から 1 つを選択し、受験するものに○印をつけること。志望するコースが「教育認知心理学」の者又は外国人留学生（特別選抜）は英語に○印をつけること。なお、選択した「外国語」は試験当日変更することはできない。
- (4) 出願書類に不備や記載事項の記入もれのある場合は出願書類を受理しない。
- (5) 出願書類受理後は、書類に記載した事項の変更は認めない。また、既納の入学検定料は、いかなる理由があっても返還しない。
- (6) 選抜試験に際して、障害等があるため大学側で補助手段等の準備が必要な場合は、出願に先立ち教育学研究科教務掛へ申し出るとともに、志願票の備考欄にその旨記入すること。

### 2 受験について

- (1) 選抜試験に関する詳細は、受験票送付の際に通知する。
- (2) 試験当日は、試験開始 30 分前までに試験場前に集合すること。
- (3) 第 1 次試験（筆記試験）開始時刻に遅れた場合は、各科目とも試験開始後 30 分以内に限り、入室を認める。
- (4) 筆記試験に使用を許可するものは、特別に許可された者以外は、黒鉛筆（シャープペンシルも可）、鉛筆削り、消しゴム、時計（計時機能のみ）に限る。
- (5) 試験室に入る際には、必ず受験票を係員に呈示すること。

### 3 入学手続きについて

官公庁・会社等に在職のまま入学する者は、所属長の発行する入学承諾書（様式随意）を入学手続き時に提出すること。

#### 4 その他

- (1) 受験者の合格後の職業継続に関する問題については、各自の責任において対処すること。
- (2) 募集要項等の郵送を希望する場合は、返信用封筒（郵便番号、住所及び氏名を明記し、380円切手を貼った角形2号封筒〔240mm×332mm〕）を同封のうえ、「大学院博士後期課程（研究者養成プログラム）募集要項請求」と朱書し、教育学研究科教務掛あてに申し込むこと。

#### Ⅷ. 個人情報の取扱いについて

出願書類等に記載されている、氏名、その他の個人情報については、①入学試験の実施、②入学手続き、③入学者の受入準備以外の目的には利用しない。

平成29年7月

京都大学大学院教育学研究科  
〒606-8501 京都市左京区吉田本町  
電話 (075) 753-3010